

TCカレッジ 令和3年度セミナー（技術・研究支援概論） 第3回講演会（株式会社パーキンエルマー・ジャパン）

熱分析の測定と結果判断の実際 ～十分な熱分析の結果を得るために～

◆◆◆ 講演概要 ◆◆◆

熱分析は物理変化を温度の関数として測定する技法であり、融点をはじめ温度を判断するだけでは十分な活用が期待できません。また、JIS規格や参考書を利用して、熱分析の結果は判断が難しいことが多く、熱分析を扱う担当者は測定条件の決定や得られた結果の解釈に多くの時間を費やします。

本講演ではDSCを中心に、講演前半では熱分析装置原理および熱分析の公定法を示すとともに、正常な状態でDSCなど熱分析を過去に測定した結果とデータ比較できる結果とするために必要な情報を示していただきます。また、講演後半では期間短縮が要求される企業の担当者や研究者に必要な実践的な解析の方法や結果の異常判断など、ケーススタディを中心にDSCの事例とともに紹介していただきます。

2021年12月22日（水） 13:30～15:00

オンライン開催

参加費無料

司会・進行：東京工業大学オープンファシリティセンター 研究基盤戦略室 梶谷 孝

開会挨拶・TCカレッジの紹介

東京工業大学 TCカレッジ長 江端 新吾

講演 株式会社パーキンエルマー・ジャパン 分析機器事業本部

アプリケーションリサーチラボ 鈴木 俊之

参考文献

- (1) 日本熱測定学会編，熱量測定・熱分析ハンドブック 第3版（丸善出版）2020
- (2) 鈴木俊之，山延健，ぶんせき (12)，pp683-688 (2014)
- (3) 小林恭子ら，工業材料 67(9)，pp50-51 (2019)

参考：熱分析屋さんのつづやき



質疑応答（10分）

開会挨拶

株式会社パーキンエルマー・ジャパン 分析機器事業本部
有機プロダクト営業部 泉谷 英治

参加方法

どなたでもご参加いただけます。
右のQRコードからご登録の上、
ご参加ください。



<https://www.ofc.titech.ac.jp/>

お問合せ先

東京工業大学オープンファシリティセンター
TCカレッジ事務局
tccoll-office@ofc.titech.ac.jp